

門真市立文化創造図書館
KADOMADOのアート



学びで地域を活性化させる図書館

門真市立文化創造図書館KADOMADOは
図書館を中心とした市民の文化・学習活動及び地域活性化を推進するための拠点施設

魅力的な学びの空間に彩を与えるアートを紹介します。

旅立ちの日に	emi tanaji	04
伸びる 弾む	hokkyok + 一瀬製作所 + TAP	07
飛びハネる	hokkyok + 一瀬製作所 + TAP	09
れんこんベンチ	遠藤克彦建築研究所 + 大林組	12





旅立ちの日に

emi tanaji

門真のために何かできることはないかというemi tanajiの申し出から始まったこの取組みは多くの人々を巻き込みながら広がっていく。

KADOMADOの関係者とKADOMA ART FESのメンバーが開催した壁画ワークショップでは、emi tanajiのファシリテートで子ども達が楽しそうに工事現場の白い仮囲いに絵を描き、工事スタッフや彼女に引き寄せられた人々が中央の大きな円の中に筆を入れていく。

人々を巻き込んでいくそのプロセスは、作品価値だけではないアートの力を感じさせられた。そして、完成した大きな壁画の一部はKADOMADOの館内に設置されている。

emi tanaji

大阪府門真市出身。幼少期より歌う事描く事が好きで、コンクールなど多数受賞歴を持つ。
生命賛美を根底に据えた世界観で、様々な表現活動によって培われた確かな技術と多彩な画風を軸に創作を続けている。
まつわる土地、人々、風景の紡ぐ物語を大切に描く作品は、生命の讃歌を歌うようにポジティブなエネルギーを放つ。
全国各地に壁画を残す他、町興しやアパレルブランドとコラボ、著名人へのデザイン提供、陶芸などもリリースしている。

代表壁画

- ・長野県渋温泉郷「歴史の宿 金具屋」貸し切り風呂タイルアート
- ・恵比寿銭湯「改良湯」外壁
- ・JR阿佐ヶ谷駅 壁画
- ・Weinsパーク海老名 複合施設、温浴場など総合ART

東京を拠点に活動中。

など多数。









伸びる 弾む

飛びハネる

hokkyok + 一瀬製作所 + TAP

アートディレクションを担当したhokkyokは、門真らしいアートを実現するため門真でアートを制作するTAPに協力を求めた。そして、門真の「ものづくり」でアートを制作するプロセスがスタートした。

ストイックなKADOMADOの建築の中で、それに溶け込みながら門真らしさを表現するため、2つのステンレス製のアートが無機質な素地のセメント板の壁面に浮遊させている。それらは、彫刻家でもあるTAPの川島慶樹の金属表現と一瀬製作所の金属加工技術を掛け合わせ、建築のスパイラルの形状をモチーフにして「成長・交流」と「飛躍」を表現している。

アートの制作を全て門真で行うことは困難であったが、hokkyokを中心に門真の企業と建築設計者と施工者が協議を重ねたプロセスが作品価値の一部となっている。

hokkyok

藤井 北斗 アートディレクター

2005年京都工芸繊維大学卒業。

廣村デザイン事務所などを経て、2015年hokkyok設立。

ロゴマーク、ポスター、パッケージなどのグラフィックデザインのほか、サイン・展示計画、アートワークなど平面から空間へと展開するデザインを軸に活動。SDA Award(日本サインデザイン賞)金賞、日本空間デザイン賞金賞など。

小中 研太 デザイナー

2023年京都工芸繊維大学大学院修了、同年hokkyok入社。

学校、銀行、病院など多様な施設のサインデザインに携わる。

2025年日本サインデザイン賞(SDA Award)にて銀賞・銅賞を受賞。

一瀬製作所

ステンレス建具の製作や建築装飾金物、特殊金物・特殊形状建具の製作から産業機械の筐体などの板金加工を行う門真市のものづくり企業。

平成29年2月 守口門真ものづくり元気企業 認定

平成29年3月 門真市カドマイスター 認定

平成29年10月 エコアクション21の認証取得(登録番号0012036)

平成30年2月 大阪ものづくり優良企業賞2017 受賞

TAP TAIHEI ART PRODUCTS BUREAU

川島 慶樹 彫刻家

野外彫刻

心斎橋アメリカ村ビッグステップ北側モニュメント Birdy Twins。

守口市西三荘遊歩道モニュメント 川面への想い 第1回大阪パブリックアート賞受賞。EL PALAU FALGUERA庭園(バルセロナ)。

ANAインターコンチネンタル石垣リゾート エントランス Twiggy project(石垣島)。島津製作所 基盤技術研究所(けいはんな)中庭

Twiggy project-courtyard- (京都)。

屋内彫刻・絵画

プラティーン西新宿 エントランス Chara is Venus(東京)。久宝寺

メガシティタワー エントランス Chara is Venus II (大阪)。汐留

住友ビルB1エントランス Birdy(東京)。

Senayan Square Fairmont Hotel Jakarta ロビーラウンジ

Buds(ジャカルタ)。THE RITZ-CARLTON東京 クラブラウンジ

Buds(東京)。紀尾井町レジデンス Buds(東京)。グランドプリンス

ホテル新高輪 エントランスBuds(東京)。





れんこんベンチ

遠藤克彦建築研究所 + 大林組

れんこんベンチ

遠藤克彦建築研究所 + 大林組

大林組からの3Dプリント技術を活かしたベンチを制作したいという提案に対して、関係者が集まりディスカッションし門真の特産品である「れんこん」をモチーフにすることになった。

遠藤克彦建築研究所は建築との調和を考える中で、形状がキッチンにならずに、また、仕上げが3Dプリントで制作した「らしさ」を残しているものを目指してデザインのスケッチを繰り返した。そして、機能として幼児から大人までが座りやすい様々な高さの座面を連続させながら、仕上げに3Dプリントの積層を見せることで、機能と技術の両方を表現するアートとしてのベンチが完成した。

このベンチが生み出されるプロセスは、施工者の提案と技術を設計者が表現するという、建築の作り方とは逆のプロセスであり、これを期にこの建築に関わる関係者がチームとして一体感を増していった。アート制作のプロセスが人と人をつなげていく様子を見ることができた。

遠藤克彦建築研究所

KADOMADOの建築の基本設計と工事監理を担当。

代表設計作品

- ・大阪中之島美術館
- ・茨城県大子町庁舎
- ・鋸南町都市交流施設・道の駅保田小附属ようちえん
(遠藤克彦建築研究所・アトリエコ設計共同体)
- ・包の家

など多数。

大林組

KADOMADOの建築の施工を担当。

代表施工作品

- ・高槻城公園芸術文化劇場
- ・箕面市立文化芸術劇場
- ・奈良県コンベンションセンター
- ・神戸大学楠キャンパス福利厚生施設

など多数。

フォトグラフ

高村 直希

門真のリソースを最大限に活かすというKADOMADOの整備プロセスの中で、アート制作に加えてフォトグラフまで地元出身のフォトグラファーが担うということは当初は想定できないものであった。

高村が関わるきっかけは、市民主体のアートイベントKADOMA ART FESであり、それらの市民活動の積み重ねが、市民の財産であるKADOMADOを創り出していくプロセスに活かされていることは、この施設の大きな魅力になっている。

そのプロセスに関わったアーティストやフォトグラファーが、今後のKADOMADOや周辺エリアでの活動にも関わることで、アートで門真をより魅力的にしていけることが期待される。

高村 直希

フォトグラファー
KADOMADOのアートの写真撮影を担当。

1989年生まれ 大阪府 門真市 出身
大阪ビジュアルアーツ(写真学科)卒業 東京都内スタジオにて2年間勤務後 2018年4月独立。現在フリーランスとしてファッション、ポートレート、エンタメ、店舗撮影、ライフワーク等ジャンル問わずに活動。

作品

- ・KADOKAWA
- ・東京ニュース通信社
- ・一迅社
- ・メディアボーイ epuls SPICE
- ・乃村工藝社
- ・新歌舞伎座
- ・ワイルドフラワー
- ・オープンエー

門真市立文化創造図書館
KADOMADOのアート

2026年3月発行

発行者 門真市市民文化部生涯学習課
〒571-8585大阪府門真市中町1番1号



KADOMADO

門真市立文化創造図書館